

2022

春の星空情報

鹿児島市立科学館 宇宙劇場

月の形

4月 ●(新月) 1日(金) ▶ ◐(上弦) 9日(土) ▶ ◑(満月) 17日(日) ▶ ◓(下弦) 23日(土)

5月 ●(新月) 1日(日) 30日(月) ▶ ◐(上弦) 9日(月) ▶ ◑(満月) 16日(月) ▶ ◓(下弦) 23日(月)

6月 ◐(上弦) 7日(火) ▶ ◑(満月) 14日(火) ▶ ◓(下弦) 21日(火) ▶ ●(新月) 29日(水)

下の図は、春の季節に鹿児島市で見える星空を示したものです。円形の図の中央が、実際の空での頭の真上“天頂”にあたり、円の周囲が地平線になります。図の東西南北の方位と自分が立っている場所での方位を合わせ、図を頭上にかざすと、いろいろな星や星座を見つけることができます。

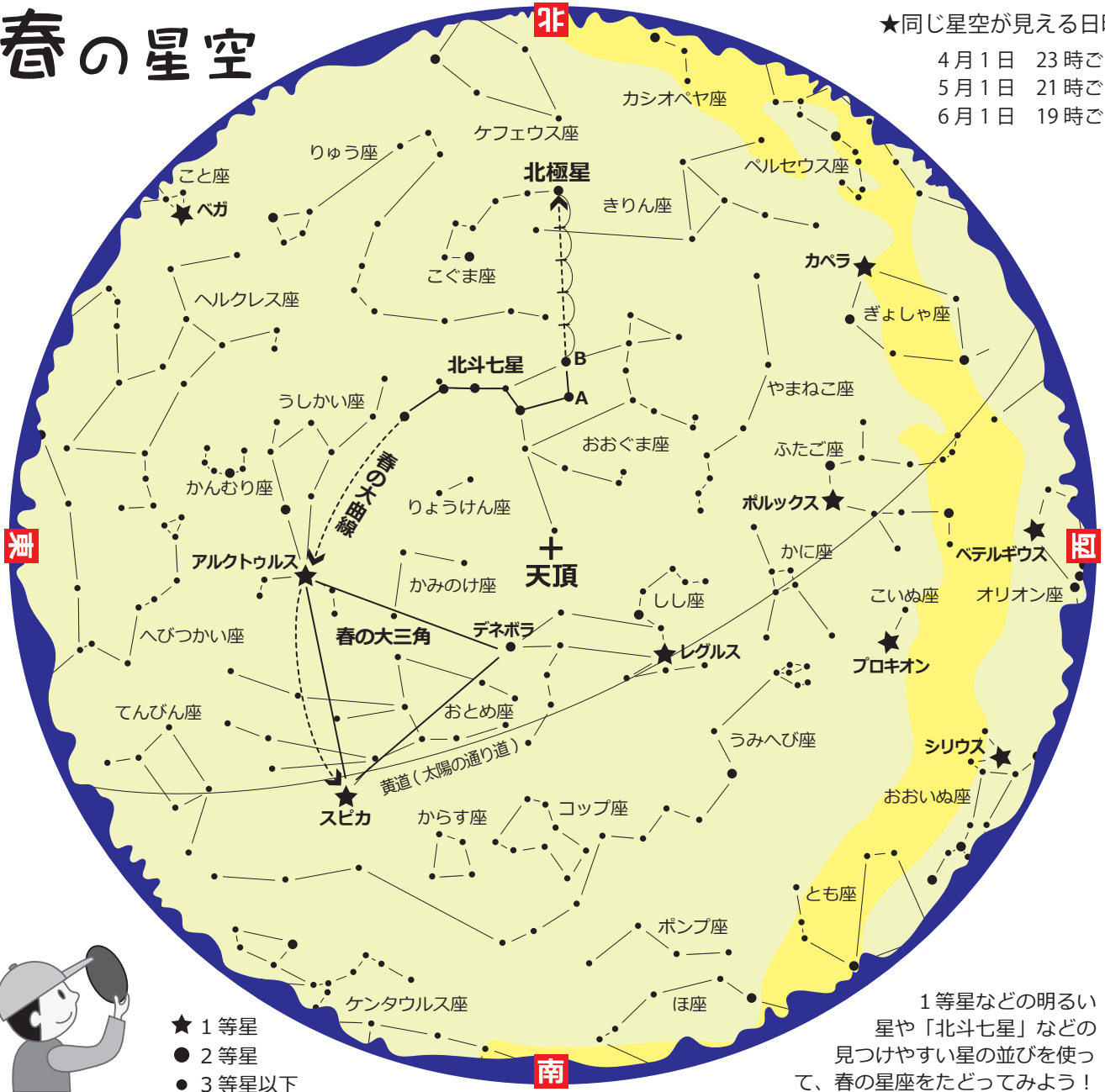
春の星空

★同じ星空が見える日時

4月1日 23時ごろ

5月1日 21時ごろ

6月1日 19時ごろ



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星以下

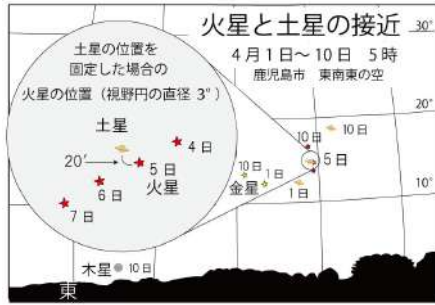
1等星などの明るい星や「北斗七星」などの見つけやすい星の並びを使って、春の星座をたどってみよう！

寒さが日に日にやわらぐ春の季節、北の空の天頂付近ではフライパンのような7個の星の並びが目を行っています。おなじみの「北斗七星」です。同じくらいの明るさの星が独特の形で並ぶその姿はよく目立ちます。この「北斗七星」は見つけやすいだけでなく、「北極星」探しや「春の大曲線」を使った星座探しにも使うことができます。「北極星」を探すには、上図のA→Bの長さを5倍にのびします。「春の大曲線」は、フライパンの取っ手の星たちを結び、そこから大きなカーブを描くようにのびします。これで、うしかい座のアルクトゥルスとおとめ座のスピカという二つの明るい1等星をたどることができます。

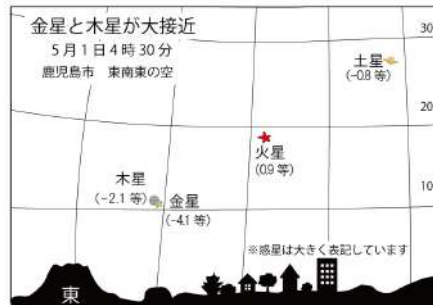
4月23日4時頃には、「4月こと座流星群」が極大をむかえますが、その時間帯は月齢21.5の月が輝いています。前日の22日の夜であれば月明りの影響なく観察できます。また、5月6日には「みずがめ座η(エータ)流星群」が極大となります。どちらも1時間に5個程ですが前後の数日間は流れ星の出現を楽しめるかもしれません。さらに、5月27日(金)午後には「金星食」が occurs。夜明け前の東の空につどう惑星や月の輝きも含めて、春の星空観察をお楽しみください。

★ 夜明け前の東の空に 惑星たちが大集合！ ★

夜明け前の東の空に太陽系の惑星たちが輝いています。4月25日～28日にかけて4惑星（木星・金星・火星・土星）と細い月が並び、6月中旬にはこの4惑星に水星が加わります。中でも4月の火星と土星、5月の金星と木星の大接近は注目です。また今年12月に地球と最接近する火星は、少しずつ明るくなり、さらに高度を上げていくため観察しやすくなります。



ほぼ同じ明るさの土星と火星が、視野角約20分角（満月の中ですっぽり入るほどの距離）に近づきます。



明るく輝く金星と木星が視野角わずか14分角まで大接近します。肉眼でもその様子を楽しむことができます。

※角度の単位 度(°)分(')秒(") 1度=60分 1分=60秒
天体の見かけの大きさや、星と星との間隔は全て角度で表します。

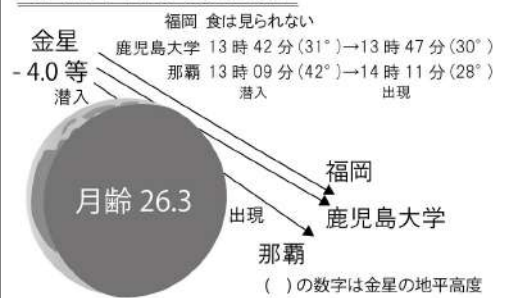
★ 昼間の金星食を観てみよう♪ ★

5月27日(金)の昼間に、金星が月に隠される「金星食」が鹿児島から南の地域で見られます。

鹿児島大学周辺では、13時42分に地上から31°の高さで食が始まり、13時47分に食が終わって金星が出現します。食が見られない場所であっても、細い月と金星が大接近する様子を双眼鏡で楽しむことができます。観察の際は太陽が視野に入らないよう注意しましょう。

各地での食の見え方

星空ガイド 2022/



★ 2022年4～6月 天文カレンダー ★

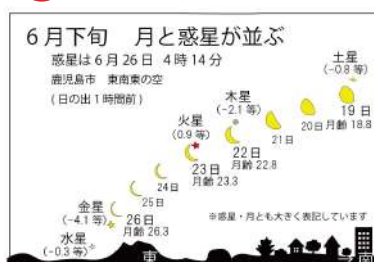
4月 4月こと座流星群を楽しもう！

- 5日 火星と土星が大接近
- 23日 4時頃「4月こと座流星群」が極大 (出現期間：4/16～4/25 HR=20)
- 29日 水星が東方最大離角 (日没後西の低空に見える)
- 30日 長周期変光星はくちょう座χ(カイ)が極大 (5～6等)

5月 金星食を観察しよう♪

- 1日 金星と木星が接近
- 5日 立夏(太陽黄経45度)
- 6日 17時頃「みずがめ座η(エータ)流星群」が極大 (出現期間：4/25～5/20 HR=15～20)
- 10日 ミラ型変光星オリオン座uが極大(4.8等)
- 21日 土星が西矩(明け方南の空で見える)
- 27日 金星食
- 29日 火星と木星が接近

6月 夜明け前の東天に 惑星大集合！



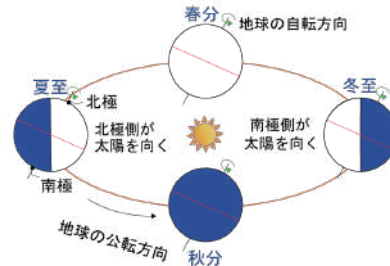
- 16日 水星が西方最大離角 (日の出前東の低空に見える)
- 21日 夏至(太陽黄経90度)
- 28日 木星が西矩(明け方南の空で見える)

※黄経…春分点を0°とする黄道座標の経度。
※朔望(月の満ち欠け)日は表面に記載

★ 一年で最も昼が長い「夏至」 ☆

6月21日(火)は、一年で最も昼が長い「夏至」の日です。鹿児島の場合、一年で最も昼が短い冬至の日と比べて約4時間も違います。なぜこんなに差があるのでしょうか？

地球の自転軸は公転面に垂直な方向から23.4度傾いています。地球が公転により太陽の周りをまわると太陽に対する自転軸の傾きが変わります。



白い部分は昼、黒い部分は夜を表す。その境目が日の出・日の入り。

北半球では、北極側が最も太陽の方に傾く日(夏至)に一年で最も日照時間が長くなります。この時地上

では一年で最も太陽の南中高度が高くなり、昼の長さが最も長くなるのです。

